

【発表抄録】

令和元年 12月 20日

地域の資源を活用した地域包括ケアシステムの推進に関するフォーラム

高松サンポート合同庁舎南館 101 会議室

発表演題「ハートがいっぱい小野地区～レディアクティブと地域包括の取組事例～」

レディライフショップアクティブ平井店 店長 松本菜見子

松山市地域包括支援センター小野・久米 保健師 崎山美咲

愛媛県松山市：人口 511,649 人、高齢化率 27.44%

小野地区：人口 17,423 人、高齢化率 30.31%

レディライフショップアクティブ平井店：小野地区平井町にある(株)レディ薬局初の介護専門ショップ

【きっかけ】

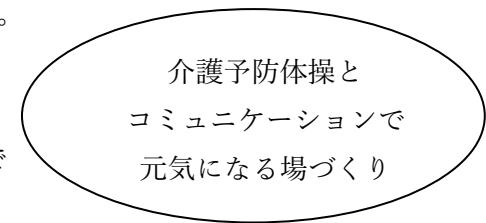
H26 年度から包括小野・久米では元気な高齢者も、少し虚弱な高齢者も、介護認定を受けた高齢者も、誰もが気軽に集えて介護予防や自己実現のために互いに助け合える「住民主体の通いの場」の立ち上げに取り組んでいる。住民や地域有力者に声を掛けて地域の集会所等で取り組んでいることを耳にされた(株)レディ薬局調剤本部在宅介護部長の発案で、アクティブ平井店でも実施する運びとなった。

【実施内容】

体操をしないかと顧客に呼びかけたところ希望者 3 名が集まり取組み開始。

愛媛県理学療法士会が定める圏域担当理学療法士が作成した「3 ない介護予防体操」と、数か月～半年毎の体力測定を実施。

毎週木曜日 14 時～ 30 分程度座位で体操。体操後はお茶とお菓子を囲んで茶話会を行い、コミュニケーションを取って頂く。



【それぞれの利点】

住民…中心になってお世話をする人がいなくても安心して参加できる。役割が重荷になることはない。

同年代の他者と交流して仲良くなれたり、刺激を受けたりすることが出来る。

包括…住民主体だとお世話役を見つけることが困難な場合もあるため、店舗スタッフがそれを担うことで安心感が生まれた。

アクティブ平井店…地域住民や介護関係者に店舗を周知できた。

体操参加者が他の地域住民へ口コミで広げてくれた。

包括・市介護保険課とのつながりが出来た。



【まとめ】

「地域包括ケアシステム」構築に必要なのは、地域住民・行政・民間企業それぞれが恩恵を享受できる関係を築くことであり、行政も民間も自分たちだけの活動でサービスを完結させるのではなく、視野を広く持ち新しいことにチャレンジしていくことが大切ではないだろうか。

それぞれが単独・点で行っているサービスや活動を、垣根を越えて繋がりあい、面にしていくことで、互いの強みを生かしあい、それぞれにメリットのある「ハートがいっぱいの地域づくり・健康づくり」地域包括ケアシステムを構築していくことが出来ると考える。